

広げようホワイト企業の輪 **わが社は『ホワイト企業推進事業場』です！**

【株式会社東海サウンド】 名北協会会員事業場

所在地：名古屋市東区東桜2-5-11 シェーネルビル202
 設立：創立1968年11月、設立1970年1月
 事業内容：○テレビ番組をはじめとする映像作品の音響効果、MA
 ○CM、企業PV制作、その他サウンドデザイン
 代表者：尾崎 勝弘
 従業員数：69名

当協会会員証「ホワイト企業推進事業場之証」シールは、よりホワイトな企業を目指し頑張る企業の証です。

ホワイト企業推進事業場之証



「ホワイト企業推進事業場之証」と梅村取締役

— わが社の「ホワイト企業」に向けた取り組み —

株式会社東海サウンドの創立は1968年。テレビ放送黎明期から、テレビ番組の音響効果を中心にあらゆるメディアで音響演出の実績を積み重ねてきました。今ではYouTubeや映画、ゲーム、立体音響など「音」にまつわる様々な分野で業務を行っています。当社では従業員が十分にクリエイティブを発揮できるよう、「働きやすい環境づくり」を心がけています。

特徴的な取り組みとしては、2カ月に1度実施している「健康管理アンケート」があります。ほんの10数年前まで放送業界は働く時間帯や、労働時間が不規則になってしまうことが多々ありました。働き方改革により業界の体質が大きく変わり、最近では番組改編期、年末などの繁忙期であっても、労務管理を行き届かせることができている。

とはいえ、締切に追われながら（プレッシャーを常に感じながら）業務をし続けている従業員の健康状態をしっかり把握するため行なっているのが「健康管理アンケート」です。チャットツールを使った簡単なアンケート（1分ほどで終わる）を全社員に実施。そのアンケート結果でネガティブな傾向が10項目中3項目以上ある方に、面談（リモート面談を含む）を行い、体調の確認をしたり、メンタル的な不調のケア、サポートを行なっています。シンプルな取り組みですが、管理職や現場スタッフに言いにくい事柄などを総務担当者と話することで気が安まったり、人に話すことで客観的に自分を見ることができ、前向きに業務に取り組むきっかけになったりしています。もちろん全社員を対象にしたアンケートですので、全社的な傾向（疲労具合、労働意欲など）も把握することができ、働きやすい環境づくりの助けにもなっています。



ミーティングの様子



働きやすさを大切にしています

気になる記事をもう一度、社内会議の資料に、安全衛生委員会のテーマに、ご活用ください。

名北労働基準協会 機関誌『Meihoku』編集室

機関誌『Meihoku』抜粋記事と労働壁新聞は当協会のホームページでご覧いただくことができます

労働○×クイズ ⑬ 答えと解説

答え ×

解説 介護補償給付は、障害補償年金又は傷病補償年金を受ける権利を有する労働者が、その受ける権利を有する障害補償年金又は傷病補償年金の支給事由となる障害であつて厚生労働省令で定める程度のものにより、常時又は随時介護を要する状態にあり、かつ、常時又は随時介護を受けているときに、当該介護を受けている間、当該労働者に対し、その請求に基づいて行われる。



したがって、障害補償一時金の支給を受けた労働者が、加齢により介護を要する状態となった場合であっても、上記の要件を満たさないため、介護補償給付を受けることはできない。

（令和7年社会保険労務士試験出題参照、労災保険法12条の8第4項）